

# 浅井町ふれあいたより

4月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 平成30年4月1日 発行者 浅井町地域づくり協議会

ホームページ:138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所)

## 「いのち」をつなぐ

一宮市立浅井中学校 校長 山田貞二

阪神・淡路大震災から22年。平成23年3月11日に起きた未曾有の東日本大震災から7年。この二つの震災では多くの尊い命が犠牲となりました。浅井中学校では、これら二つの震災から「いのち」を学ぶ学習を行っています。道徳の授業や生徒会の活動、講演会などを通じてつながれていく「いのち」の奇跡と大切さを探求しています。

そうした活動の一つとして宮城県名取市閑上（ゆりあげ）地区との交流は、子どもたちに多くのこと



を考えさせる活動となりました。閑上では毎年3月11日に追悼のイベントが行われます。そのイベントで使われる絵灯籠の原画づくりに生徒会が取り組みました。1、2年生全員と3年生の有志が参加しました。閑上の方への温かいメッセージとともに、心のこもった作品が完成しました。

そして、2月16日(金)には、閑上で語り部をされている佐々木清和さんにおいていただき、遺族としての思いを語っていただきました。東日本大震災によって家が流されご両親と奥様、最愛の娘さんを亡くされています。この講演会には、全校生徒のほか、保護者の方や地域の方、そし

て市外の先生や一般の方にも参加いただきました。

佐々木さんは、誠実な語り口で、震災のことや家族の話、今の生き方についてお話しをされました。途中、娘さんが発見されたときに着ていた学校のジャージを見せられました。津波の怖さを実感するとともに、それを大切にしていらっしゃる佐々木さんの思いを強く感じました。

講演後には、子どもたちや保護者、地域の方と全校道徳を行いました。感想を簡単に尋ねた後、「今の佐々木さんを支えているものは何だろう」というテーマで話し合いを行いました。多くの大人のいる中での発言でしたので、緊張して話す生徒もいましたが、真剣な表情で語ってくれました。それを受けて数名の保護者や地域の方の考えを発表いただきました。

中学生が大人の考えを聞くことで、あらたな思いや考えを持つことができたのではないかと思います。

今回、佐々木さんの話を聞いた人の多くが「いま生きていることの喜び」を感じ、同時に「生かされていることの喜び」を感じられたことでしょう。佐々木さんの貴重なお話をそのまま終わりにするのではなく、どう生かしていくかが大切です。今後も、本校では「いのち」の授業を続けてまいります。そして、地域の方と一緒に、震災や「いのち」について考える機会を積極的につくり出していきたいと思えます。



## 〈社会見学のご案内〉

来る5月11日(金)浅井町地域づくり協議会主催の社会見学を実施

します。見学先は東山動植物園と徳川園、そしてアサヒビール名古屋工場で浅井町民ならどなたでもご参加頂けます。参加費は2,000円で4月11日(水)午前9時から浅井町出張所で先着順の受付となります。市のバスを利用し定員は30名です。詳細については3月下旬の町内回覧チラシをご覧ください。

## 卒業生を送る会

卒業式を前にして、小学校では「6年生を送る会」、中学校では「3年生を送る会」がそれぞれ開催され、在校児童、生徒そして保護者からお祝いされました。スライド、演劇、ダンスと歌などそれぞれの学年が、この日のために練習してきた出し物を精一杯披露しました。卒業式を前に、深く思い出に残る行事となりました。



浅井中学校



浅井北小学校



浅井中小学校



浅井南小学校

## 浅井中リトルアーティスト展

2月18日(日)から25日(日)までの一週間、



東浅井にある“もりのギャラリー”で「浅井中リトルアーティスト展」が開催されました。中学校の美術部と特別支援学級の生徒たちの作品展です。油絵、イラスト画、立体作品などが会場一杯に展示され、来場者の目を惹きつけていました。

## 第24回いずみまつり

3月11日(日)いずみ福祉園、いずみ作業所、いずみフレンズ等の福祉施設会場で「第24回いずみまつり」が開催されました。暖かい春の日差しの中、開場前から多くの方々が訪れ、どこの駐車場も満車の状況でした。

会場中央に設置された特設ステージでの催し、品そろえ豊富な模擬店、施設紹介など趣向を凝らしたお祭りとなり特に人気のあるカレー、たこ焼き、うどんなどのバザーは長い行列。多くの浅井町民も訪れ、賑やかな春の一日を楽しく過ごし、仲間とふれあいました。



浅井中合唱部によるミニコンサート

## サロン活動レポート（3）

尾関公民館で開催している「らくらく体操」は代表の小島基弘さんが『地域の人たちが外に出るきっかけを作りたい』との熱い思いで、長寿会役員の心を動かして発足しました。平成28年9月町内会で参加者を募って、14名でスタートしましたが、現在30名ほどに増えて来ています。開催日は第2・第4の金曜日午前10時から1時間、会費は100円で、健康体操が主な活動です。地域づくり協議会のサロン活動補助金で購入したチューブや色とりどりのわっかを使い、音楽に合わせて体操される皆さんの姿は、とてもハツラツとして凛とした美しさも感じました。参加者からは「毎回楽しみにしています。」、「以前は、膝にシップを十数枚貼っていた人が、今は必要ないよ」などの声を頂きました。未永い活動が期待されます。

